



## 安全データシート

Page 1 of 7

LOCTITE 410 HIGH VISCOSITY ADHESIVE known as Loctite  
410

SDS No. : 153509  
V001.3

改訂: 07. 12. 2017

発行日: 13. 04. 2020

### 1. 化学物質等及び会社情報

製品コード : 303017  
製品名 : LOCTITE 410 HIGH VISCOSITY ADHESIVE known as Loctite 410

会社名 :  
ヘンケルジャパン株式会社  
東京都品川区東品川2-2-8  
スフィアタワー天王洲 14F  
140-0002  
電話番号 : +81 (45) 758-1820  
FAX番号 : +81 (45) 758-1826

### 2. 危険有害性の要約

GHS分類 :

<u>危険有害性クラス</u>	<u>危険有害性区分</u>	<u>標的臓器</u>
引火性液体	区分 4	
皮膚刺激性	区分 2	
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分 2A	
特定標的臓器毒性 - 単回暴露	区分 3	気道刺激性
水生環境有害性(急性)	区分 2	
水生環境有害性(長期間)	区分 3	

GHSラベル要素:

絵表示:



注意喚起語:

警告



#### 4. 応急処置

- 皮膚にかかった場合：** 皮膚を接着した場合無理にはがさないようにしてください。温水に浸してゆっくり尖ってないスプーンのようなものではがすようにしてください。シアノアクリレートは硬化時に発熱します。まれに大量にこぼした場合やけどするおそれがあります。やけどの治療は、接着剤を取り除いてから行うこと。もし唇を接着してしまった場合は温水で湿らせてはがすこと。通常は唾液により自然にはがれます。接着した唇をはがすときに、無理やりはがそうとしないこと。
- 眼に入った場合：** もし眼を接着してしまった場合は温水で湿らせたパッドを当てること。シアノアクリレートは眼中たんぱく質を接着する、涙を誘発し接着剤を剥離する。接着されたものが完全に剥離するまで眼帯等をする。通常1～3日かかる。眼を無理に開けようとしなくてください。硬化したかけらがまぶたの裏に入り眼球を傷つける恐れがあるので、医師の診断が必要です。
- 飲み込んだ場合：** 気道がふさがれていないことを確認してください。製品は直ちに重合するため飲み込むことはほとんど不可能です。唾液により徐々に硬化されたものが剥がれ落ちるでしょう（数時間）。
- 吸入した場合：** 空気の新鮮な場所へ移動させ、不快感が続く場合医師の診察を受けること。

#### 5. 火災時の措置

- 消火剤：** 泡、粉末消火剤、二酸化炭素  
細かな霧状の水スプレー
- 火災時の分解物質：** 炭素酸化物、窒素酸化物、刺激性有機蒸気。
- 保護具：** 消防隊員は陽圧自給式呼吸器（SCBA）を着用すること。

#### 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項：** 十分な換気を保つこと。
- 環境に対する注意事項** 下水管に流さないこと。
- 除去方法：** 拭き取るのに布は使用しないこと。水を流し完全に硬化させた後、床から取り除くこと。硬化物は非有害物として廃棄することができる。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い** 大量に使用する時は、換気することを推奨する。  
皮膚や眼に接触するリスクを最小限にするため、塗布装置を使用することを推奨する。

**保管:**

最適な棚寿命を保つために、元の容器で 2 - 8 ° C (35.6 - 46.4 ° F) で冷蔵保管すること。

## 8. 暴露防止及び保護措置

**管理濃度**

成分	日本産業衛生学会	ACGIH
カーボンブラック	1 mg/m <sup>3</sup> TWA 4 mg/m <sup>3</sup> TWA	3 mg/m <sup>3</sup> TWA
無水フタル酸	0.33 ppm 2 mg/m <sup>3</sup> CEILING	0.005 mg/m <sup>3</sup> TWA 0.002 mg/m <sup>3</sup> TWA

**設備対策:**

しっかりした換気／排気を確保すること。

**保護具:**

**呼吸用保護具:**

十分な換気を保つこと。

**眼の保護具:**

保護眼鏡を着用すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

形状:	液体
色:	黒色
臭い:	鋭い, 刺激性
pH:	該当なし
融点/凝固点:	データ無し
沸点:	> 149 ° C (> 300.2 ° F)
引火点:	80 - 93 ° C (176 - 199.4 ° F)
自然発火温度:	データ無し
蒸気圧:	< 60.000000 Pa
蒸気密度:	データ無し
比重:	1.1
n-オクタノール/水分配係数:	データ無し

## 10. 安定性及び反応性

安定性 :

化学的反応性: 水、アミン類、アルカリおよびアルコール存在下で、急速な重合発熱が起こる。

化学的安定性: 推奨保存状態下では安定している。

避けるべき条件 通常の使用、保管条件では安定。

## 11. 有害性情報

成分	危険有害性クラス	危険有害性区分	ばく露経路	標的臓器
2-シアノアクリル酸エチル	皮膚刺激性	区分2		
	眼に対する重篤な損傷 /眼刺激性	区分2A		
	特定標的臓器毒性 - 単回暴露	区分3		気道刺激性
カーボンブラック	分類の必要なし			
ヒドロキノン	急性毒性	区分4	経口	
	眼に対する重篤な損傷 /眼刺激性	区分1		
	皮膚感受性	区分1		
	生殖細胞変異原性	区分2		
	発がん性	区分2		
無水フタル酸	急性毒性	区分4	経口	
	皮膚刺激性	区分2		
	眼に対する重篤な損傷 /眼刺激性	区分1		
	呼吸器感受性	区分1		
	皮膚感受性	区分1		
	特定標的臓器毒性 - 単回暴露	区分3		気道刺激性
エチレンコポリマーゴム	分類の必要なし			
ジメチルシロキサン変性シリカ	分類の必要なし			

一般毒性情報: 動物実験検査データなし。

## 12. 環境影響情報

成分	危険有害性クラス	危険有害性区分
ヒドロキノン	水生環境有害性(急性)	区分1
	水生環境有害性(長期間)	区分1
無水フタル酸	水生環境有害性(急性)	区分3

一般環境有害性情報: 下水管/地表水/地下水に捨てないこと。

### 1 3. 廃棄上の注意

- 推奨廃棄方法:** 国及び地方自治体の規則に従って廃棄すること。  
この製品の廃棄物への寄与は、それが使用される物品と比較して微少である。
- 汚染容器包装の廃棄方法:** 使用後は、残留物の付着したチューブ、箱、ボトル は化学汚染物質として公認された埋め地に処理するか焼却する。  
廃棄処理は必ず法規制に従って行うこと。

### 1 4. 輸送上の注意

**Marine transport IMDG:**  
危険物には該当しない。

**Air transport IATA:**

Class:	9
Packing group:	III
Packing instructions (passenger)	964
Packing instructions (cargo)	964
UN no. :	3334
Label:	9
Proper shipping name:	Aviation regulated liquid, n.o.s. (Cyanoacrylate ester)
追記 :	Primary packs containing less than 500ml are unregulated by this mode of transport and may be shipped unrestricted.

### 1 5. 適用法令

- 労安法 :**
- |              |   |
|--------------|---|
| 名称等を通知すべき有害物 | 2-シアノアクリル酸エチル<br>カーボンブラック<br>ヒドロキノン<br>無水フタル酸 |
| 名称等を表示すべき有害物 | 2-シアノアクリル酸エチル<br>カーボンブラック<br>ヒドロキノン<br>無水フタル酸 |
- 消防法**
- 第4類引火性液体, 第三石油類 非水溶性
- 毒劇物法 :** 該当しない
- PRTR 法 :** 該当しない

### 1 6. その他の情報

発行日: 13. 04. 2020

**問い合わせ先:**

近藤 由紀子、製品安全性及び規制業務担当

**注意:**

この情報は現況での化学的根拠と発送された製品の状況を元に作成したものである。またこれは安全を説明するための情報で、製品の特性を保証するものではない。

ここに表明したデータは信頼性があると考えられるが単に情報として挙げただけである。Henkel社のコントロールが及ばない人々が得た結果については責任を持たない。Henkel製品の適切性、特定目的で使用する際の製造方法、Henkel社製品の取扱いや使用に関わる危険性から人や資産を守るための予防処置などの見極めはユーザーの責任の元行われるべきである。以上の説明の元、Henkel社は、明示・暗示に関わらず、特定用途に対する市場性・適切性を含み、製品の販売・使用に関わるすべての保障への責任を拒否する。更にHenkel社は、損益を含むいかなる2次的・偶発的損害についての責任も拒否する。

SDSの内容に関するお問い合わせ ヘンケルジャパン株式会社 製品安全性及び規制業務担当 横浜市磯子区新磯子町27-7 TEL:045-758-1780 FAX:045-758-1771